

【11月】お米配布家庭数：2,111家庭 お米配布人数：4,563名

①この日のメニューは、『ハヤシライス+サラダ+ゼリー』でした。

今回も、こどもたち、おとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃん、地域のみなさんがたくさん集まって、テーブルを囲んでワイワイ食べました！

この日は、地域の放課後デイサービスの子どもたちとスタッフが15名で来てくれました。他の人と時間が重ならないように、食事時間までは1階スペースでボードゲームやおもちゃで遊んでもらい、13時から食事提供し、スムーズに食事してもらいました。食事後は、お寺の本堂を見もらいました。初めて本堂を見る子どもも多く、楽しそうにしていました。

②お米の協賛本当に助かります。

当法人は週に3日間の営業をしているため、ランニングコストも結構かかります。

今後ともよろしくお願ひいたします。

③今月もお米、お惣菜のご支援ありがとうございました。

今回も子育て支援として、子どもさんのいるご家庭31世帯へ、お米1キロを小分けしてお渡しました。お惣菜はかさまししてテイクアウトのお弁当に入れました。

今月は救命の講座をしました。これからお餅などの窒息しないために、消防署の方をお招きし、人形を使用して実際に体験してもらいました。毎月の継続的なご支援、本当にありがとうございます。

④困難家庭と思い3年ほど支援していてますが、つい最近親子でパチンコに行っている事を聞きます。他にヤングケアラーの子どももいる。

関わっていかないと、と感じます。行政の皆さんと相談しながらすすめてます。

⑤今回お米や惣菜の他、地域の方々からキャベツ・ブロッコリー・かぼちゃと沢山の野菜を頂き、ビタミンたっぷり、栄養満点のメニューを提供することが出来ました。

デザートにパンプキンケーキも作り、子どもや親御さん達に大変喜んで頂きました。

母子寮から母子家庭の参加も増え、公民館の狭い場所での開催が難しくなっている状況です。

⑥今回のフードパントリーは、お米、お惣菜、その他ご支援いただいたお菓子、フードドライブでいただいた日用品などお渡しする事ができました。

まずご利用者さんに言われる事はお米のこと。いまだ高値のままのお米は大変喜んでもらえます。次に、お菓子など子供達はどれにしようかと大騒ぎでした。

シングルファミリーや3人以上の子育てファミリーも多く、「お米はこれから子供が大きくなるにつれてたくさん必要になるから、このままの高値だとちょっと困る」とのことなので、引き続き支援していけたらと思っています。

いつもご協力ありがとうございます。皆さん大変笑顔で感謝されています。

⑦私たちのこども食堂は、以前より近隣の小中学校で学級・学年閉鎖が出た場合は、活動を自粛して感染拡大を防止しております。11月のこども食堂での活動は、近隣の小中学校でインフルエンザによる学級閉鎖が出たため、活動をお休みしました。ですので、いただいたお惣菜は、学習支援の子供たちへと配布しました。

お米は、12月のフードパントリーにて配布させていただく予定です。  
よろしくお願ひいたします。

⑧いただいたお米とお惣菜は、毎日、入居者の食事やお弁当で使わせていただいています。  
また、ここを巣立ち、自分で生活している子には、弁当を冷凍して届けたり、お米も届けます。

⑨今回は、おそうざいとカレーが人気です。たこ焼き作りもしました。  
子どもたちが自ら考え行動できるように見守っていますので、自立して少しずつ行動できるよう  
になっています。

⑩今回連休の半ばであり、参加人数が少ないかなと思ってましたが、普段の人数とさほど変わらない人数が来場されました。楽しみにしてくれている人たちがたくさんいるのかなと前向きな想像  
しています。

本当にお米はどなたも喜ばれます。今後ともよろしくお願ひします。

⑪困難家庭には、お米が大変喜ばれています。物資をお渡しする際は、大変な生活近況をお聞きする  
ようにしています。帰りは笑顔で帰られるので、孤独ではないことをお伝えできているのかな  
と思います。

⑫米が頂けることは本当に助かります。お米がなかなか安くならない中で、パントリーにお米が入  
っているのを見てとても喜んでいます。困難家庭には、お米やパン、パックご飯などを特別にたく  
さん入れております。

今回の子ども食堂は、子ども食堂について勉強したいと名古屋学院の学生4名が来てくれました。  
同じ学院の人がボランティアで働いている姿を見て感じることも多かったと思います。  
さつまいもをいただいたのでスイートポテトを作りました。食べ終わったら持って帰れるとあつ  
て、いつもより早く食べ、綺麗に食器を拭いてスイートポテトをもらいに来る子が多かったです。  
また、唐揚げのおかわりも多かったです。おかわりの行列が出来ました。和気あいあいとし  
た子ども食堂でした。

⑬子ども食堂では、栄養のある温かい食事の提供に加え、学習支援や遊びの時間を設け、安心して  
過ごせる「居場所」としての役割も大切にしています。

継続して関わる中で「家以外にも安心できる場所ができた」「友達と過ごす時間が増えた」「大  
人に気軽に相談できるようになった」などの声が聞かれ、子どもたちの表情が明るく変化してい  
く様子が見られました。

いつも温かいご支援ありがとうございます。

⑭今回はカレーライスを提供。いただいたお米を3升炊きましたが、53人でほぼ食べきました。  
美味しかったようで、みんなたくさんおかわりしてくれました。

我々の団体はフリースクールも行っていますが、そちらの体験に来てくれる子も家族で参加し  
てくれました。

午前中にフリースクールで採ってきたみかんも、子どもたちは大喜びでたくさん食べてくれま  
した。

また、小学校高学年の子とフリースクールの中学生との自然な関わりも見られました。こういっ  
た異年齢での関わりが自然発的に起こるのも、子ども食堂の良さだと思います。

今回は、近隣の企業さんからのご寄付もたくさんいただき、とっても豊かな子ども食堂となり、  
本当に感謝しています。

⑮フードパントリーを同じように続けていると、より深く馴染んでいくようです。  
道で出会っても、向こうから近づいてきてくれるので嬉しいです。

⑯ 11月は、パスタ・スープ・サラダ・デザートとたいへん盛りだくさんの内容となりました。サラダにはご支援いただいたお惣菜を活用し、またフードバンクからゼリーのご提供もいただき、充実した食事内容となりました。前日には野菜の仕込みや準備を行ったことで、当日の食事提供もとてもスムーズに進めることができました。フードパントリーでは、お米を小分けにして、ファミマフードライブやご支援のみかんと合わせて参加いただいた皆様にお配りしました。学習支援の時間には、ブロック遊びやお絵描きを楽しむ子どもたちがいたほか、天候にも恵まれ、恒例となったモルックで元気に体を動かして遊ぶ子どもたちの姿も多く見られました。今回の参加者には初めて来られた方も多く、たくさんの方とお話しする機会がありました。口コミやSNSでの発信を通じて、私たちの活動が皆さんに認知されてきていることを実感できた月でもありました。これからも皆さんのご支援に感謝しつつ、継続して活動に取り組んでまいります。

⑰ 今回は日本みかん農協の「温州みかん」が当選したため、旬のおいしい果物をこどもたちに提供できました。通常通り、地域の方々が来られて楽しめる温かな空間となりました。困難家庭への支援は、世帯数としては2世帯のみ継続的に支援しており、フードロス対策で頂いた防災食などをおそらく分けたりする小さな活動を続けております。

⑯ 皆さんお米をお届けすると「こんなときに頂けて嬉しい」と喜ばれます。何かしら我慢をしなければいけないことがあり、周りがこども連れでイベントなどで楽しんだり、周りと比べるとストレスが溜まってしまう事もあり大変ですが、食費が少しでも楽になる分、お金と心に余裕が出るので助かっている様子です。

⑯ 今回は地域のボランティア団体の協力のもと、子どもたちと一緒に「おにぎりパーティ」を実施しました。それぞれが好きな具材を選びながら、自分だけのおにぎりを作る時間は、まるで小さな料理教室のようでした。子どもたちからは「これめっちゃおいしい!」「次は違う具にしてみよう」と笑い声が絶えませんでした。初めて会う子も多かったのですが「一緒に握ろう」と自然に声をかけ合う姿があり、食を通して新しい友だちができていく様子がとても印象的でした。また、普段はあまり自分から話しかけない子が、スタッフや地域の大人に「見て見て!」と自分の作ったおにぎりを嬉しそうに見せてくれたことが、今回の大きな変化だと感じています。地域の方々と一緒に活動することで、子どもたちにとって「家でも学校でもない第三の楽しい場所」が生まれることを実感しました。今後も季節の食べ物をテーマにしたイベントや、遊びと組み合わせた活動など、子どもたちがワクワクできる時間を一緒につくっていきたいです。

⑯ カメリア様のパンや岩田食品様の惣菜など本当に喜ばれています。また、お米など毎月頂けて助かっております。有難うございました。





